

国際環境基盤学演習 I II III IV (修士課程)

2007年4月改訂

2007-04-02 山路永司

本演習は毎週1回程度、研究室ゼミ形式で開催されるとともに、必要に応じて指導教員とのディスカッションを行う。

I-IVともに、毎学期開講するが、受講は順番通りとする。すなわち、Iは入学直後の学期に、IIは次の学期に、IIIはその次の学期に、そしてIVは最終学期に受講できる。短縮終了を目指す場合は、別途協議する。

それぞれの内容は次の通りである。

演習 I (必修、2単位)

「主題と目標」論文読解。

「内容」国際環境協力に関係する学術論文を3編以上分析的に読む。論文の背景、目的、方法、結果、考察を要約し、それについて考察を加える。どのように改善すればよいかの提言も行う。1編の論文について5ページ程度のレポートにまとめ、ゼミで発表・討議し、学期末に改訂レポートおよび学期総括文書を提出する。

「成績評価方法」出席(15回)および改訂レポートの内容で評価する。

演習 II (選択、2単位)

「主題と目標」修士論文のテーマ発掘。

「内容」研究したい分野・テーマについて、その意義と位置づけを論述する。それにあたっては、内外の既往の研究を参照し、その分野・テーマ・手法で、何が明らかにされていて、何が明らかにされていないかを明確に論述する。以上をとりまとめ、ゼミで発表・討議し、学期末に改訂レポートおよび学期総括文書を提出する。

「成績評価方法」出席(15回)および改訂レポートの内容で評価する。

演習 III (選択、2単位)

「主題と目標」データの収集と解析。

「内容」研究分野において、どのようなデータが必要か、どのように取得するか、どのように解析するか、具体的に作業を行う。その結果をゼミで発表・討議し、学期末に改訂レポートおよび学期総括文書を提出する。

「成績評価方法」出席(15回)および改訂レポートの内容で評価する。

演習 IV (選択、2単位)

「主題と目標」学会投稿論文の作成。

「内容」研究分野にふさわしい学会への投稿論文を作成し、提出する。投稿先により異なるが、16,000字という制限の中に、研究の背景、目的、方法、結果、考察等を的確に盛り込む。作成後、当該学会に投稿するが、その採否は単位認定とは関係がない。

「成績評価方法」出席(15回)および投稿論文の内容で評価する。